

”個人テクニック“と”集団テクニック“

Técnica Individual y Colectiva

ポジション別 タスク

Tareas por Posiciones

サイドハーフ編

サイドハーフの主なメイン原則

攻撃

- 攻撃バランスを保つ
- 攻撃を牽引する
- ボール保持時の意識

守備

- ラインバランスを整える
- マークの識別をする
- ボール保持者への守備
- スペースの守備

メイン原則

サブ原則

コンセプト

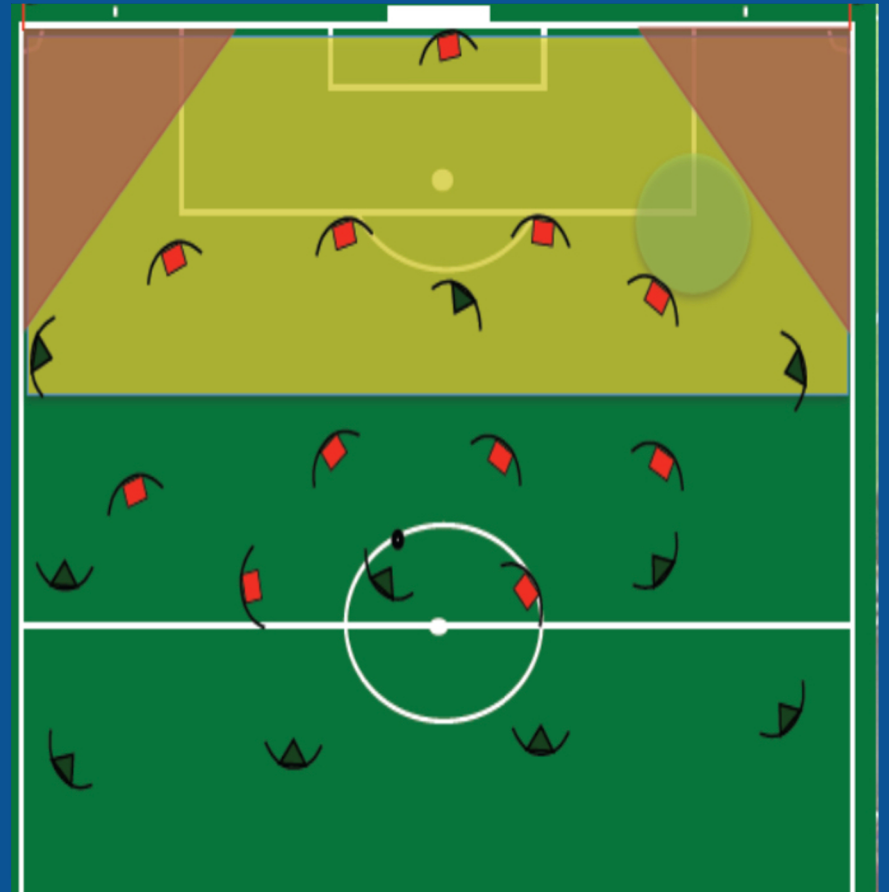
ページの
見方

図

サイドハーフ編①攻撃バランスを保つ

1, チームとしての幅と深さをとる

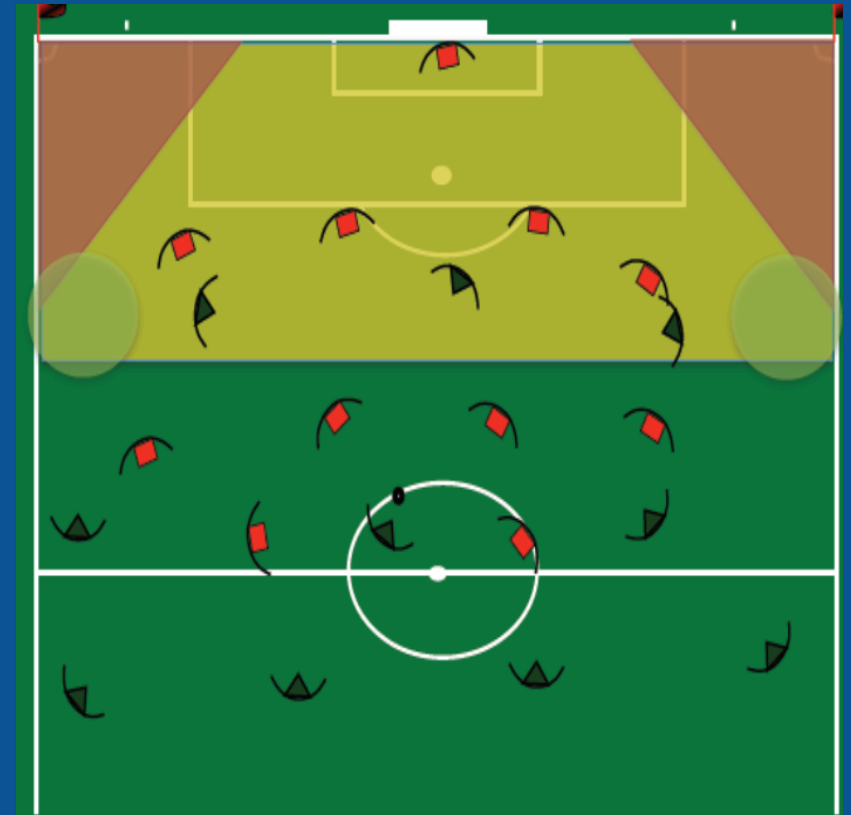
- 相手の守備アクションを困難にするため、幅をとる。（中に絞っている場合、開いて、サイドバックと共に幅をとる。）
 - 相手DFが閉じている時：外からの攻撃を試みる。
 - 相手DFが開いている時、中からの攻撃を試みる。
- 中への攻撃を助けるため、深くポジションをとる。（相手の中央の選手にマークされないようにする）
- 「偽9番」



サイドハーフ編①攻撃バランスを保つ

1, フィニッシュゾーンでは幅を縮小させる

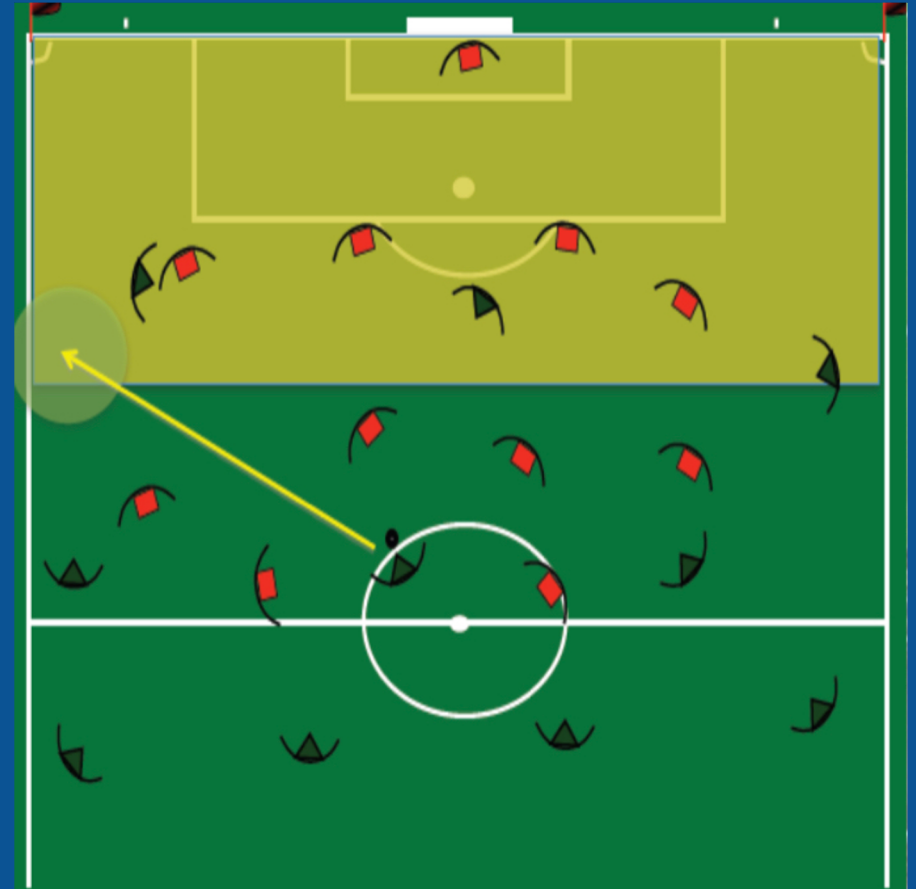
- 逆サイドから前進をしている際は逆サイドのハーフは、徐々に中に絞る:
 - ボールなし:相手の崩れたラインを利用する。センタリングに対して中に飛び込む準備を行う (時には最大幅をメリットにならない)
 - ボールあり: Ir hacia el defensor para tener dos salidas (dentro y fuera)



サイドハーフ編②攻撃を牽引する

2, 幅を確保して味方をサポートする

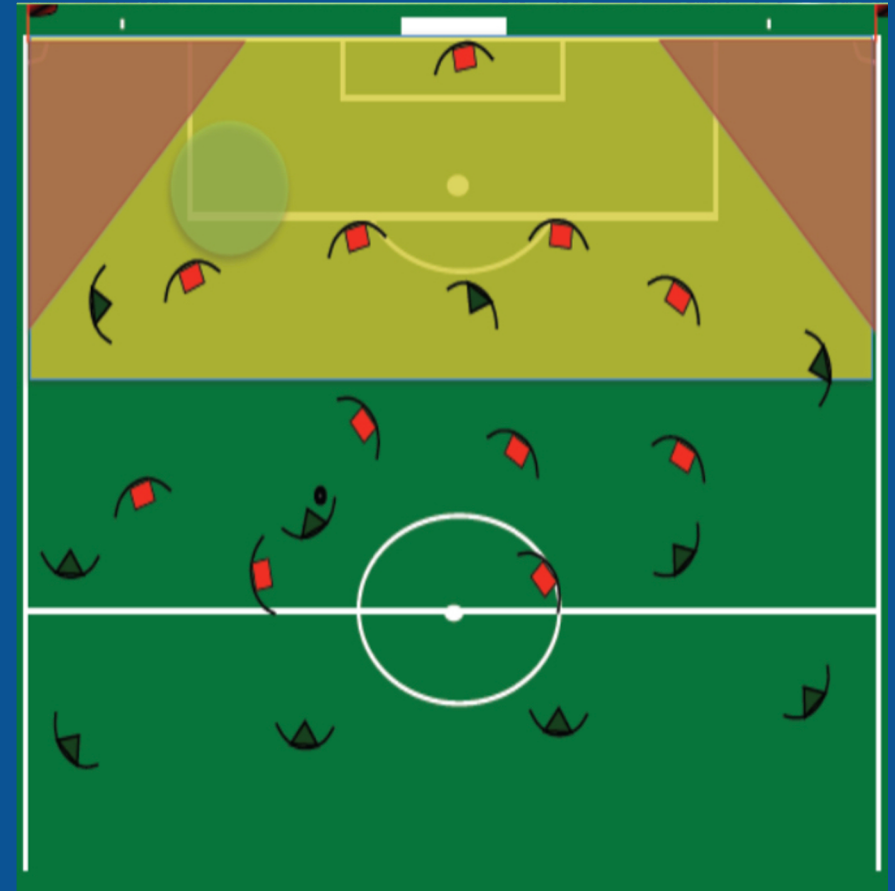
- ボール保持者に対して斜めにサポートする。(ボール保持者に対して垂直に立たない)
- パスが通るように、幅をとりながら相手から離れる。
- サポートが遠すぎてはいけない。
- 体の向き



サイドハーフ編②攻撃を牽引する

3, 相手DFの背後を狙う

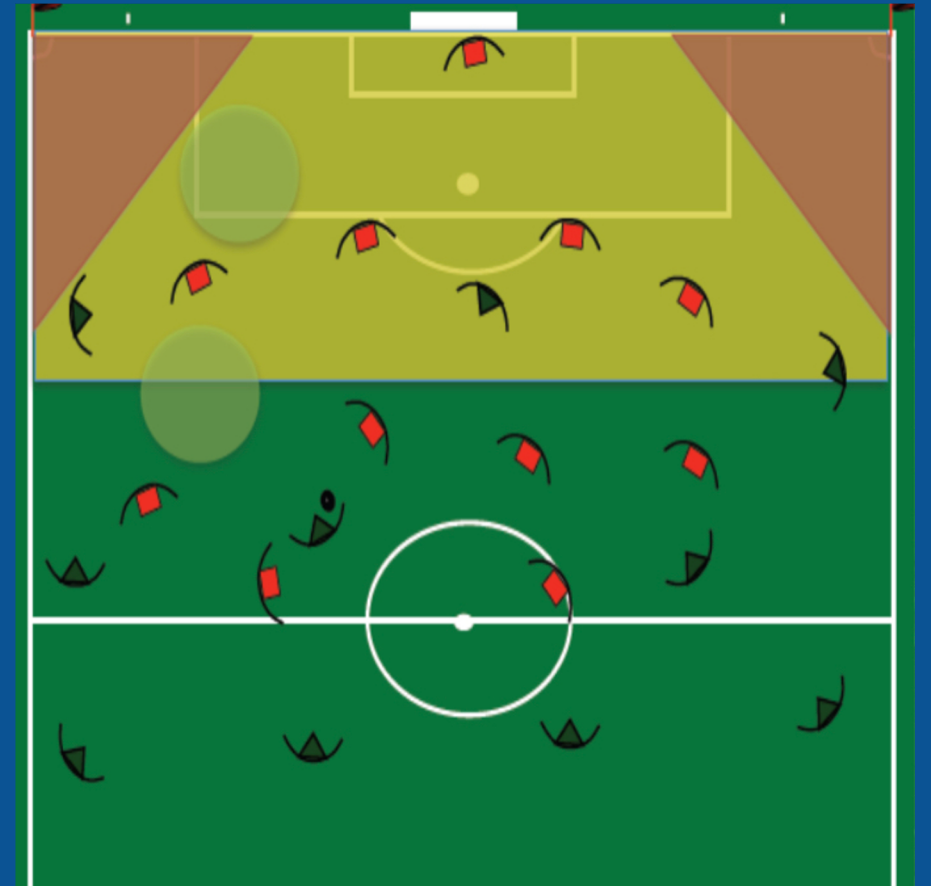
- 相手ゴールに向かってデスマルケ
- オフサイドラインからデスマルケを始めない。(デスマルケのタイミング)
- 相手サイドバックの背後を狙う。
(クロスボール、サイドハーフに近いサイドバックからのボール)



サイドハーフ編②攻撃を牽引する

4, 2種類のデスマルケを織り混ぜる

- サイドハーフはデスマルケを使い分ける。
- 毎回同じデスマルケは、相手に予測され安い。
- 主導権を握る。
- デスマルケの瞬間はリズムを変える。

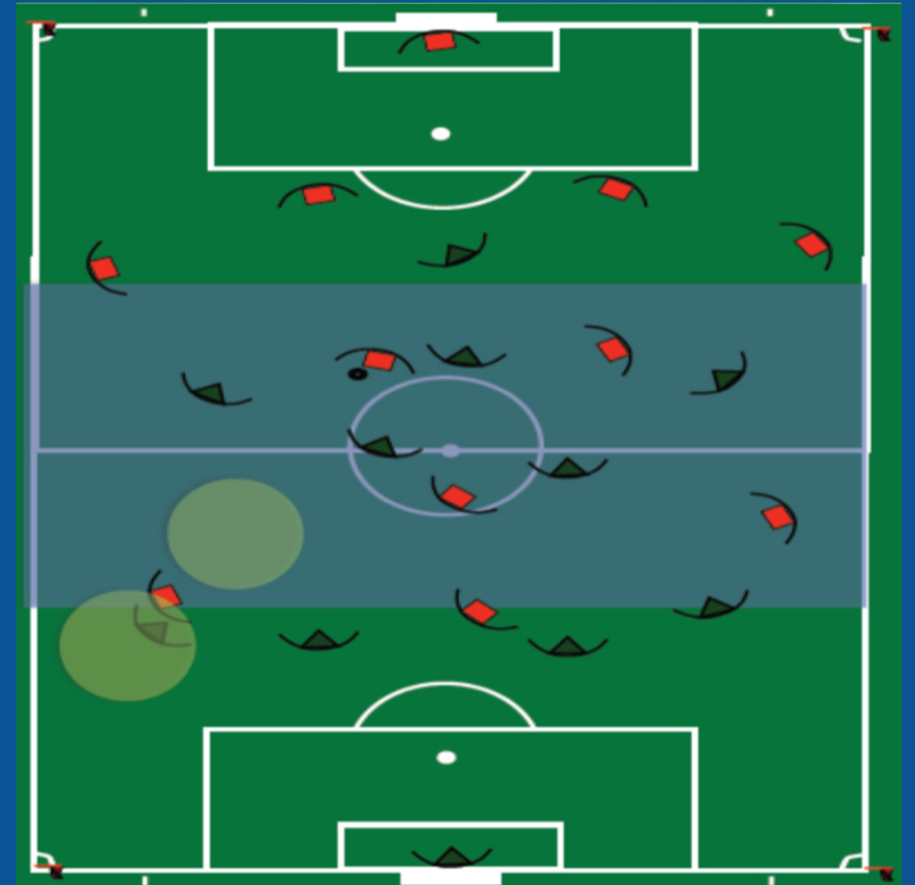


サイドハーフ編②攻撃を牽引する

5, デスマルケのためスペースを作る

状況：サイドハーフはマークされている。

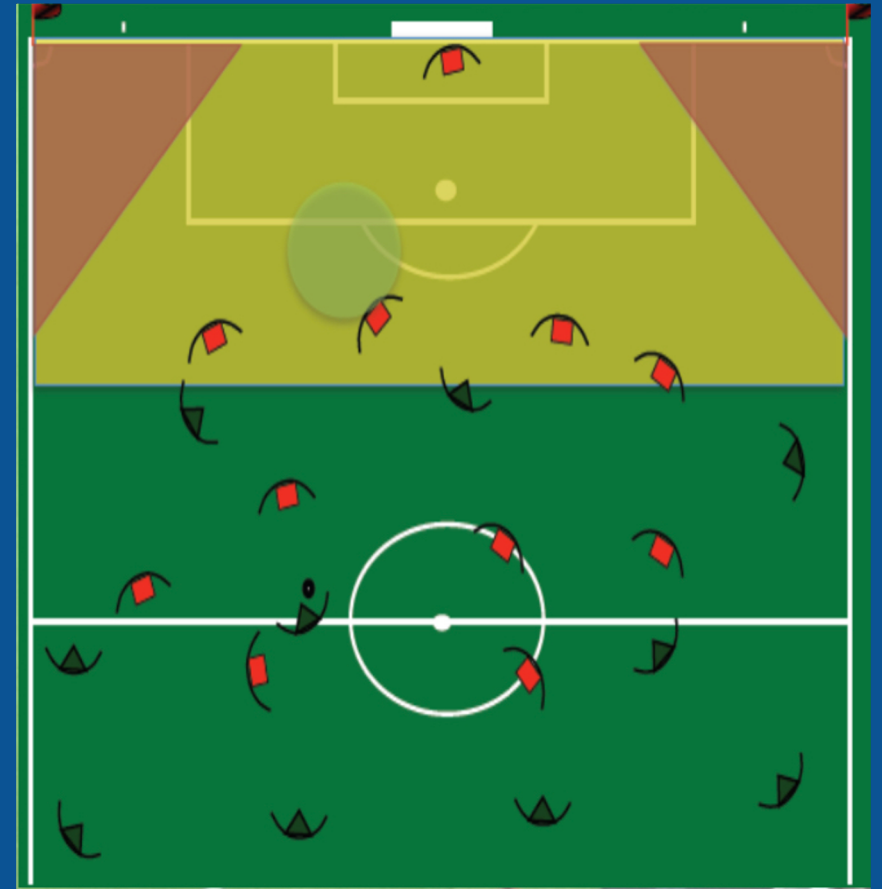
- スペースを作るため、逆サイドに向かってデスマルケを始める。
- 自分が向きたい場所の逆方向に相手を引きつけるため、デスマルケのフェイントは長く、相手の注意を引くものでなければいけない。
- コントロールの瞬間までデスマルケを止めない。（より大きな優位性を得るため）



サイドハーフ編②攻撃を牽引する

6, 相手DFラインのバランスが崩れている時、
中央へ向かうデスマルケを行う

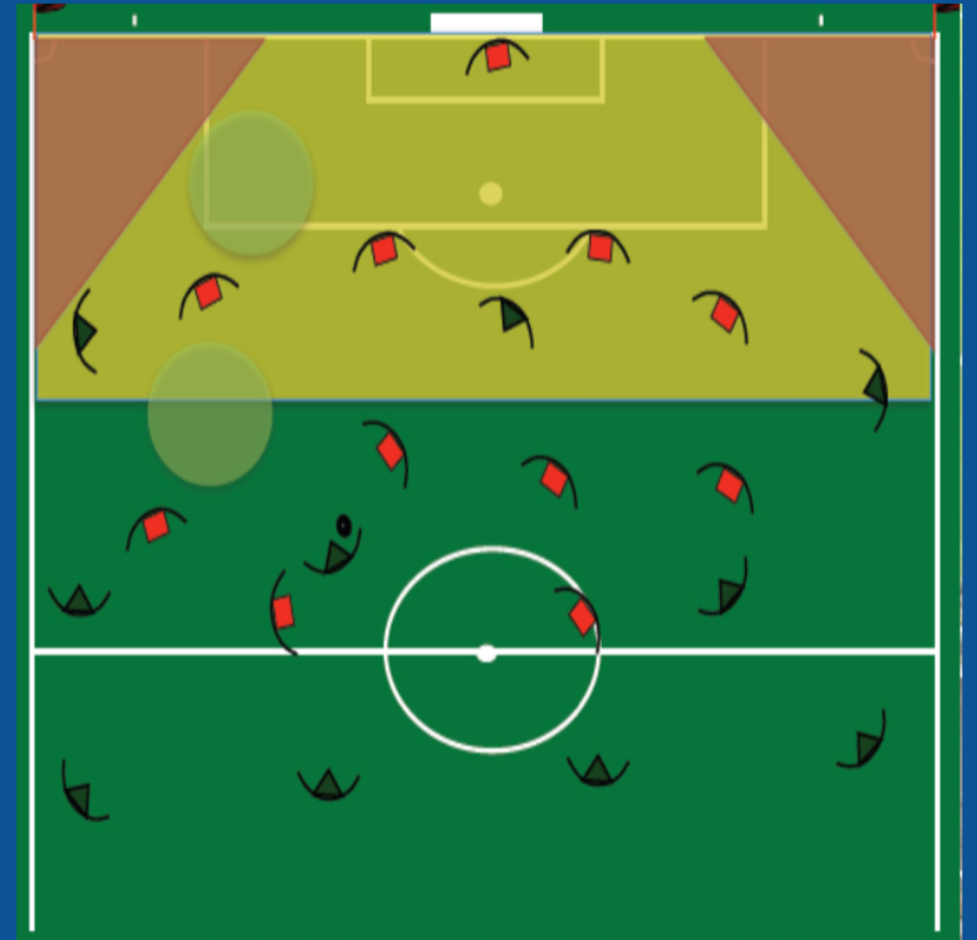
- ボール循環によって、相手DFラインのバランスを崩すことができる。適切なデスマルケによって、優位性を持ってボールを受けられる。
- DFラインを水平に走りながら、このデスマルケを狙う。
 1. 相手センターバックとサイドバックの間のスペースを見る。
 2. フォワードがデスマルケをした後は、足元で受ける。



サイドハーフ編②攻撃を牽引する

7, 足元へのパスが塞がれている時、
中へパスコースを作る

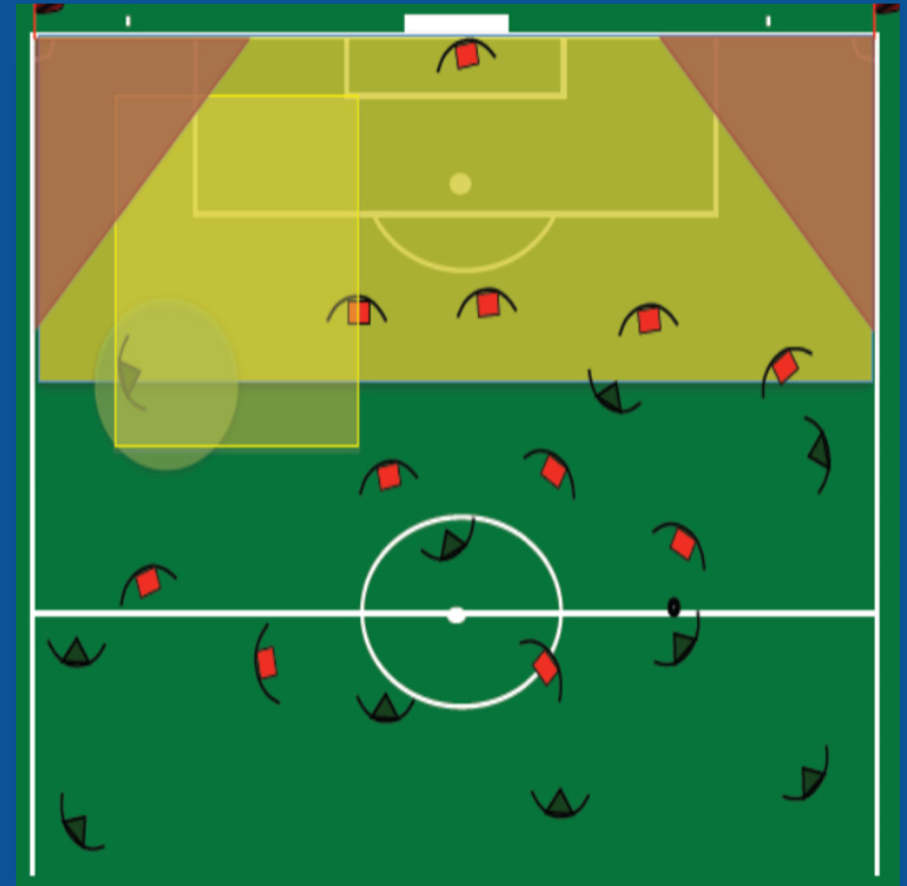
- 中央のスペースを確認し、サポートのデスマルケによって利用する。
- 前のラインの内側にいる相手選手を見ておく。
- サイドバックの攻撃参加と連携して、幅をとる。
- 幅をとりながら、バックパスのパスコースを作る。



サイドハーフ編③ボール保持時の意識

1, 優位性を持った状態で 1×1を仕掛ける

- 1×1の状況を作れる相手DFを探す。（相手のカバーリング、十分なスペースがあるかを見る）
 - 2つの選択肢を持つために、相手ゴールに向かう。
- 外へ向かう場合：クロスボールを狙う。
- 中へ向かう場合（相手センターバックを攻める）：
シュート、中への壁パス、DF背後へのパス。



サイドハーフ編③ボール保持時の意識

2, 優位性がある時は動きを止めない

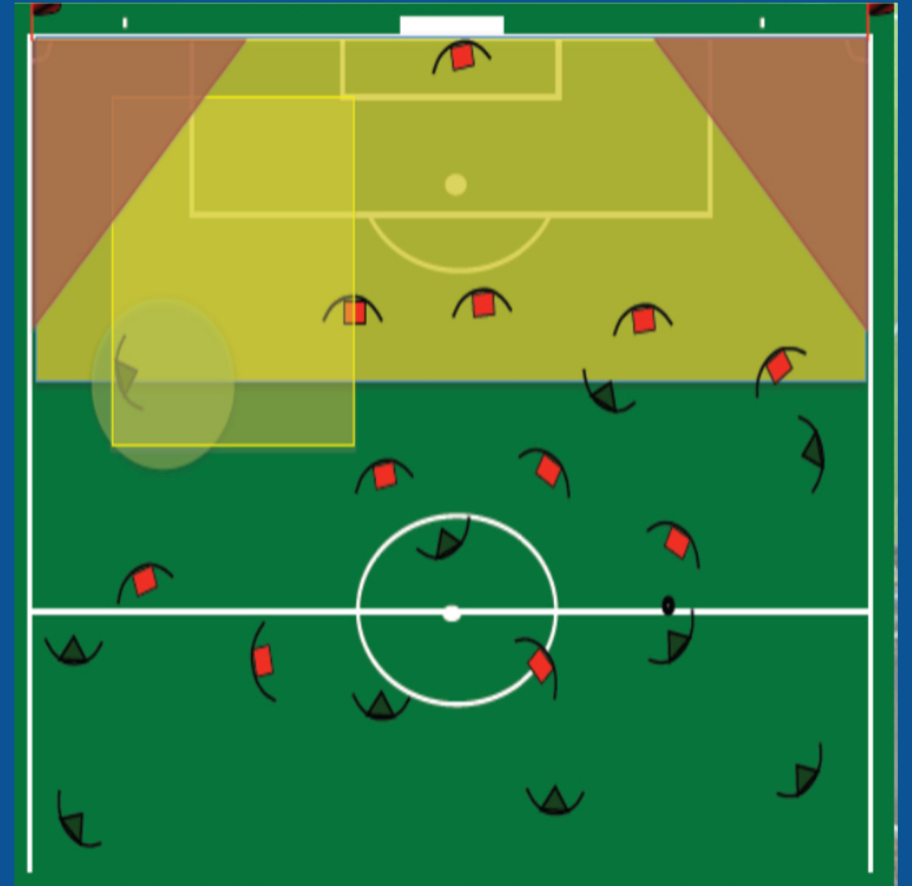
- 優位性獲得を得た場合、プレーを継続し、次のアクションを狙う。
- 止まらない
- 優位性を生かせる味方選手を見ながら前進する。



サイドハーフ編③ボール保持時の意識

3, ファーストコントロールによって 優位性を得る

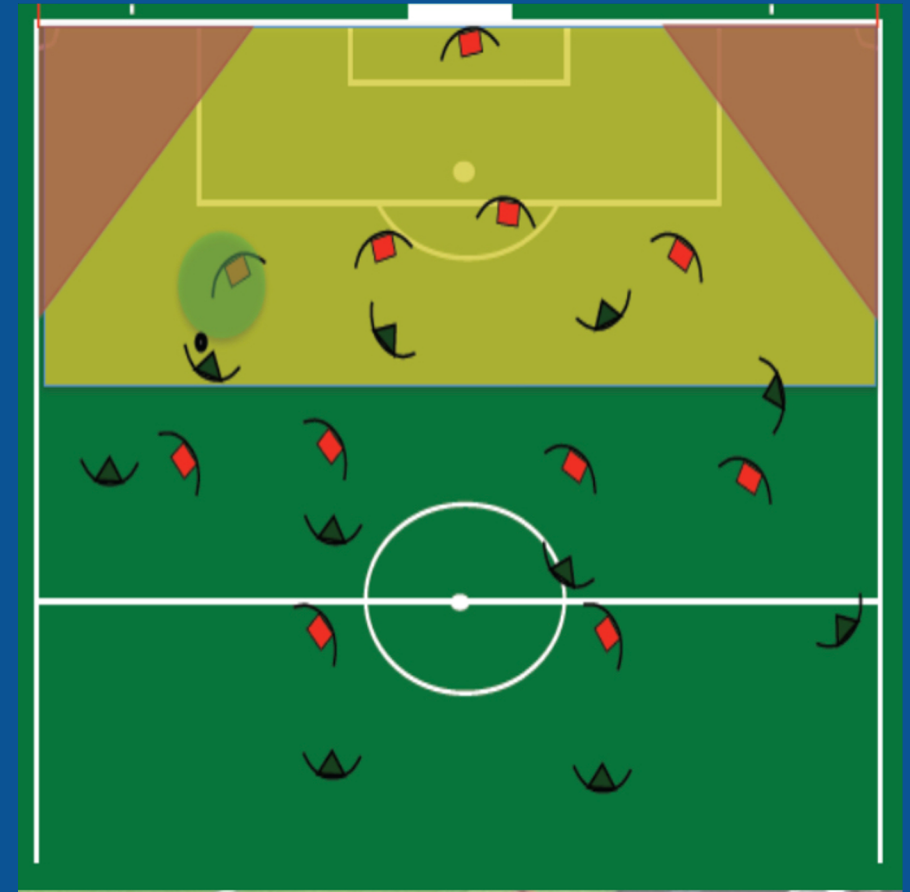
- 相手がバランスを整える時間を与えないよう、ボールを待たずに迎えに行く。
- 選択肢：
 1. フリーなスペースへ向かう。（相手が追い付きつつあり、予測しようとしている場合）
 2. 相手に向かう。（相手が遠くにいる場合）
 3. ボールを守る。（相手がとても近い場合）



サイドハーフ編③ボール保持時の意識

4, 運ぶドリブルで相手を引き付ける

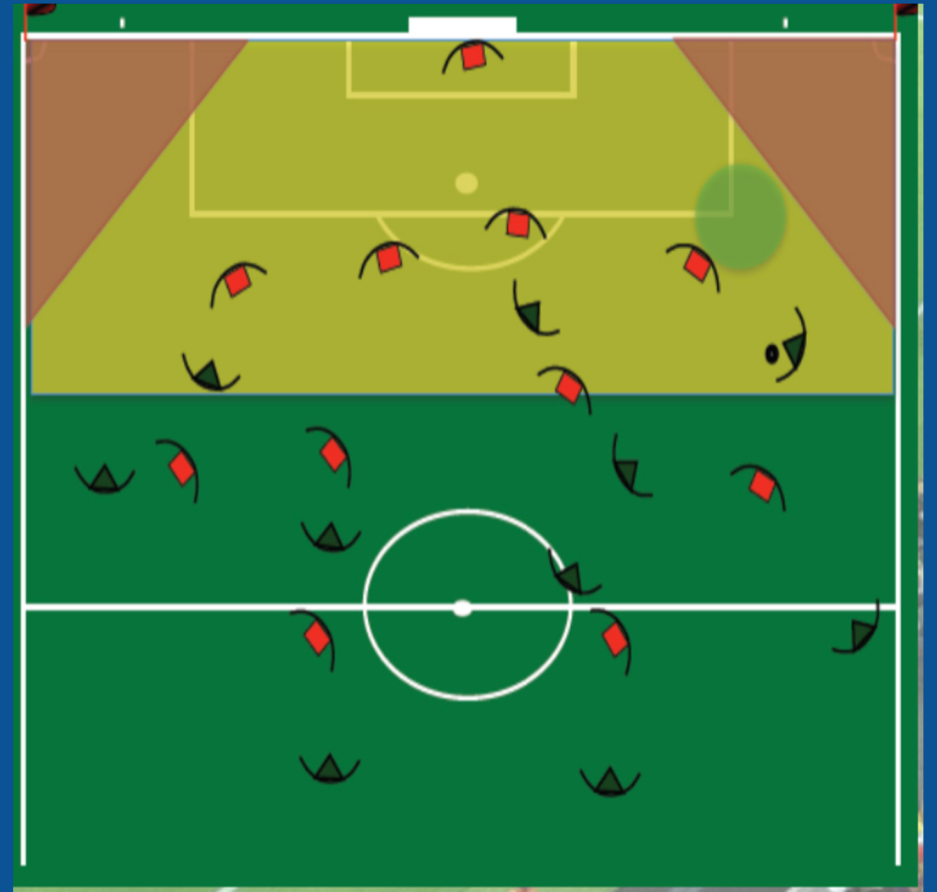
- 外のスペースをより利用するため、サイド付近にいる相手をドリブルで引きつける。
- 相手を突破する瞬間はパスを織り混ぜる。
- サイドでの2×1の状況。



サイドハーフ編③ボール保持時の意識

5, パスの後、継続性を保つ

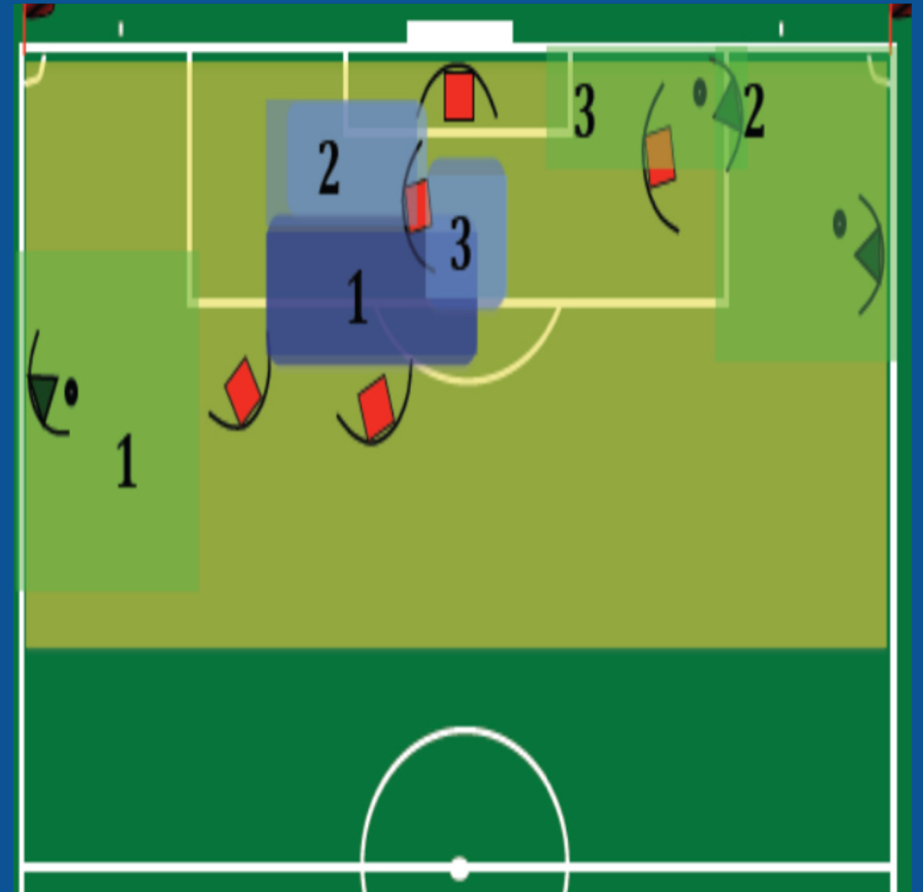
- 違う角度で新たなパスコースを作る。
- 相手のDFラインを破るデスマルケを狙う。
(中へのドリブルからの壁パス)



サイドハーフ編③ボール保持時の意識

6, DFの前にセンタリングをする

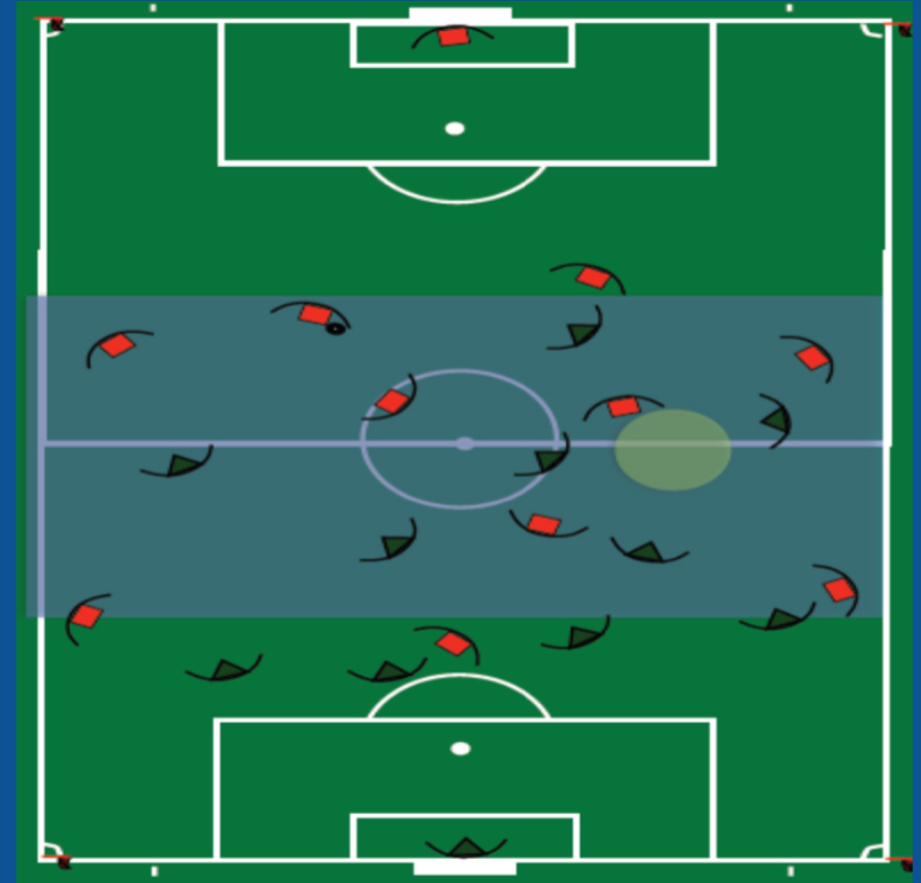
- 考えられる状況：
 1. ボール保持者が相手DFラインと同じ高さ：キーパーと最終ラインの間へのクロスボール。
 2. DFが前に出てきている。：受け手が優位性を持つようにフリーなスペースへのクロスボール。
 3. ボールがゴールライン際：マイナスのパス。
 4. DFがペナルティエリアの中にいる。：強いクロスボール。
- 逆サイドのサイドハーフ：絞ってクロスボールに合わせに行く。



サイドハーフ編④ラインバランスを整える（守備）

1, DFのバランスを維持しながらゾーンDFを行う

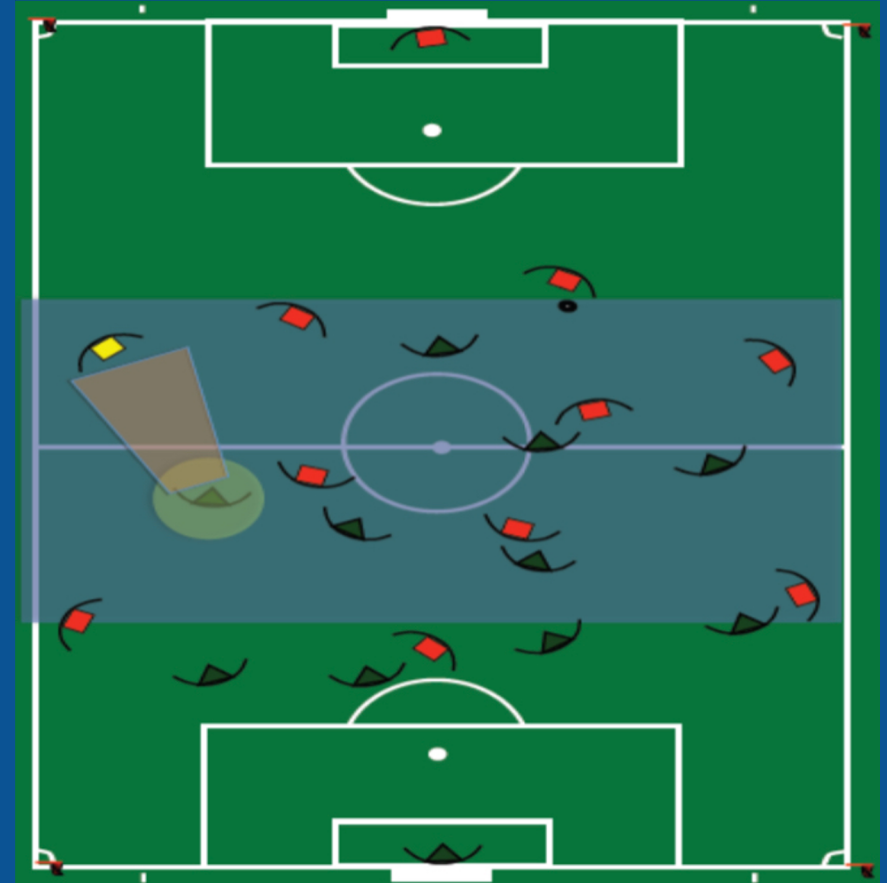
- サイドハーフはサイドでのDFのバランスをとらなければならない。
- ボールが逆サイドで前進している場合、サイドバックのスペースも受け持つ。
- 中へ絞る。（バランスをとる）
- 中盤のラインにボールがある場合、ボールより後ろにポジションをとる。



サイドハーフ編⑤マークの識別をする

1, 守備の役割を認識する

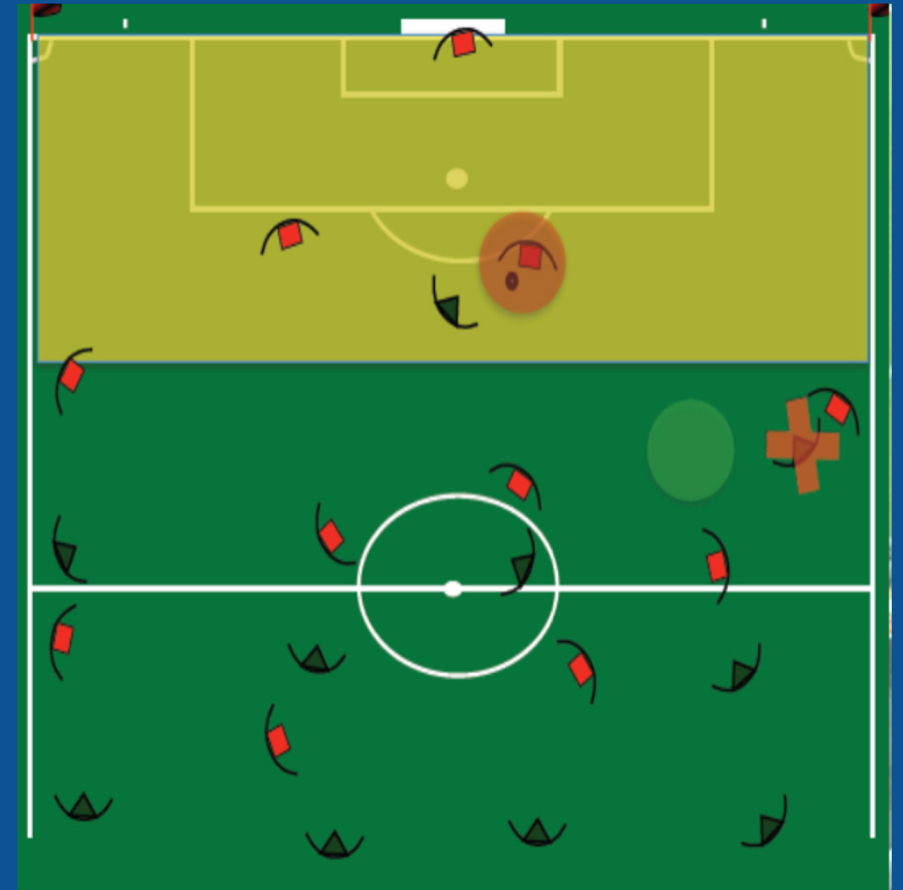
- マークすべき選手を認識する。（相手サイドバック）
- ボールが遠くにある場合、中のスペースを閉じる。
- 自分に近い選手へのカバーリング。
- 相手サイドバックに突破されない。
- 体の向き。



サイドハーフ編⑤マークの識別をする

2, ボールにプレッシャーがかかっている場合、マークしている相手との距離を詰める

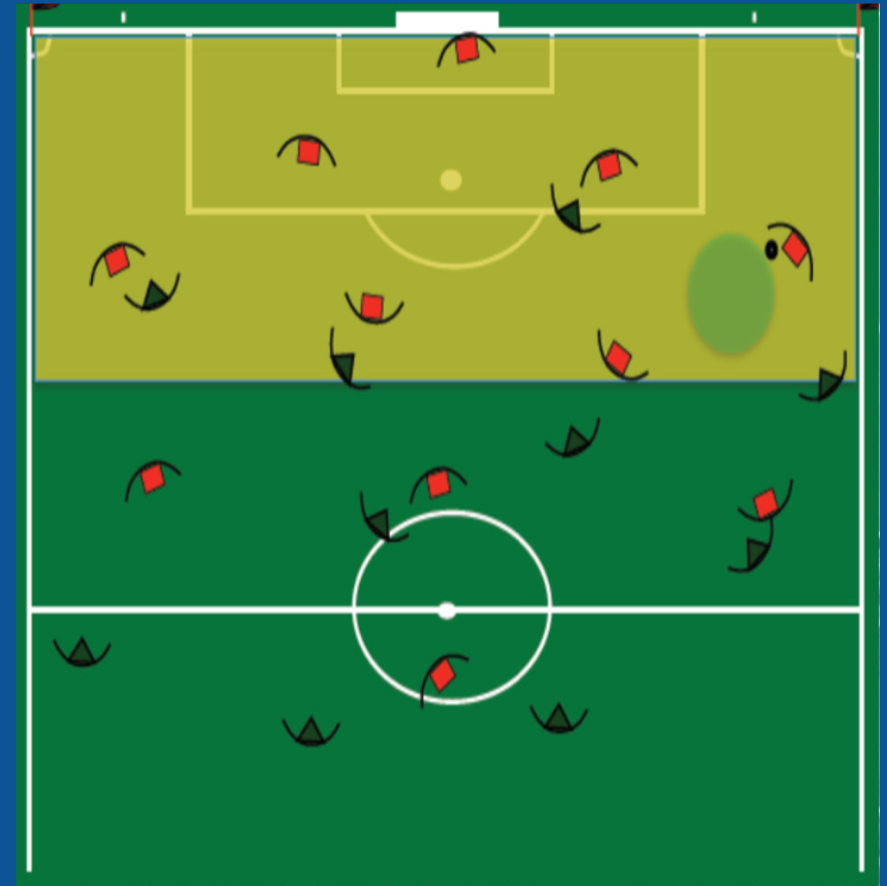
- ボールにプレッシャーがかかっている場合、マークしている相手選手（サイドバック）に近づく。
- 守備のバランスは崩さない。
- ボールが相手に届くのと同時に相手にプレッシャーをかける。
- プレッシャーをかける時相手の前でスピードを落とす。（ボールを奪うよりも、突破されないことを優先する。）



サイドハーフ編⑥ボール保持者への守備

1, 相手サイドバックの前進のパスを防ぐ

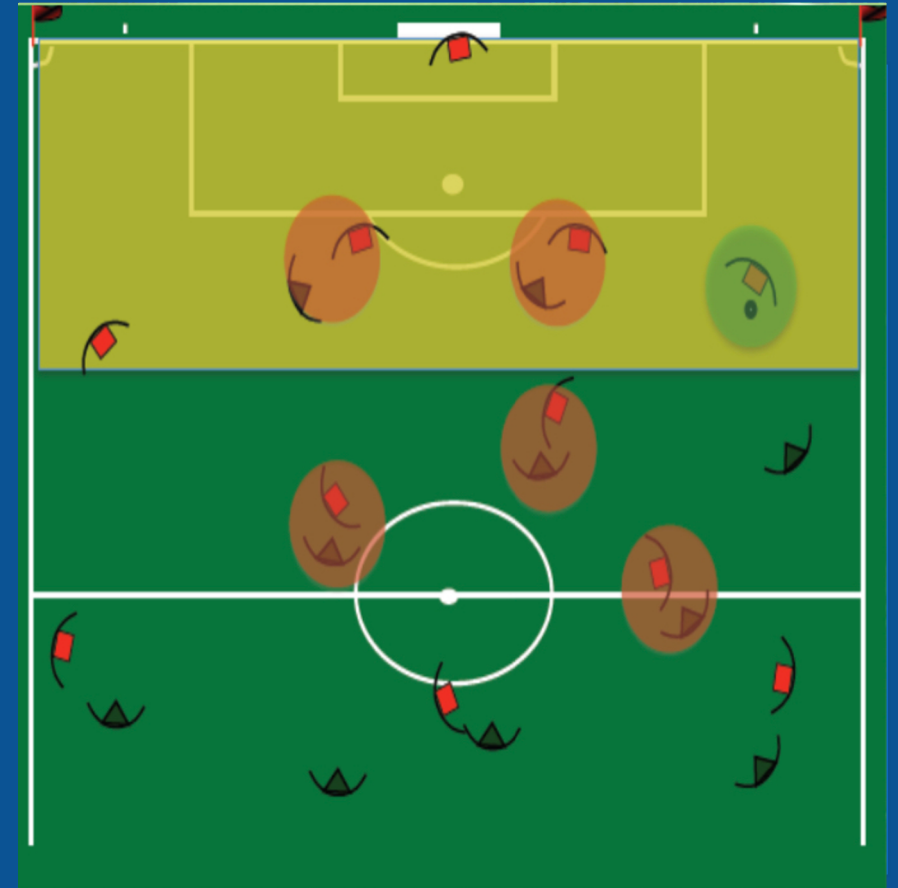
- 相手サイドバックにプレッシャーをかけ、前のポジションの選手とのプレーをさせない。
- プレッシャーをかけられる距離を保つ。
- プレッシャーに間に合わない場合、相手の攻撃を遅らせ、相手の前線へのパスコースを閉じる。
- 突破されない。



サイドハーフ編⑥ボール保持者への守備

2, 高いラインでプレッシャーをかけている場合；ボールに近い選手をマークする

- ボール保持者に対してハイラインでプレッシャーに行く場合；
 - ボールにより近い相手選手をマンマークする。
(主に相手センターバックとボランチ)
 - プレッシャーに間に合わない場合、後ろのスペースを守ることを優先し、相手の前線へのパスを防ぐ。



サイドハーフ編⑦スペースの守備

1, 中へのパスを防ぐ

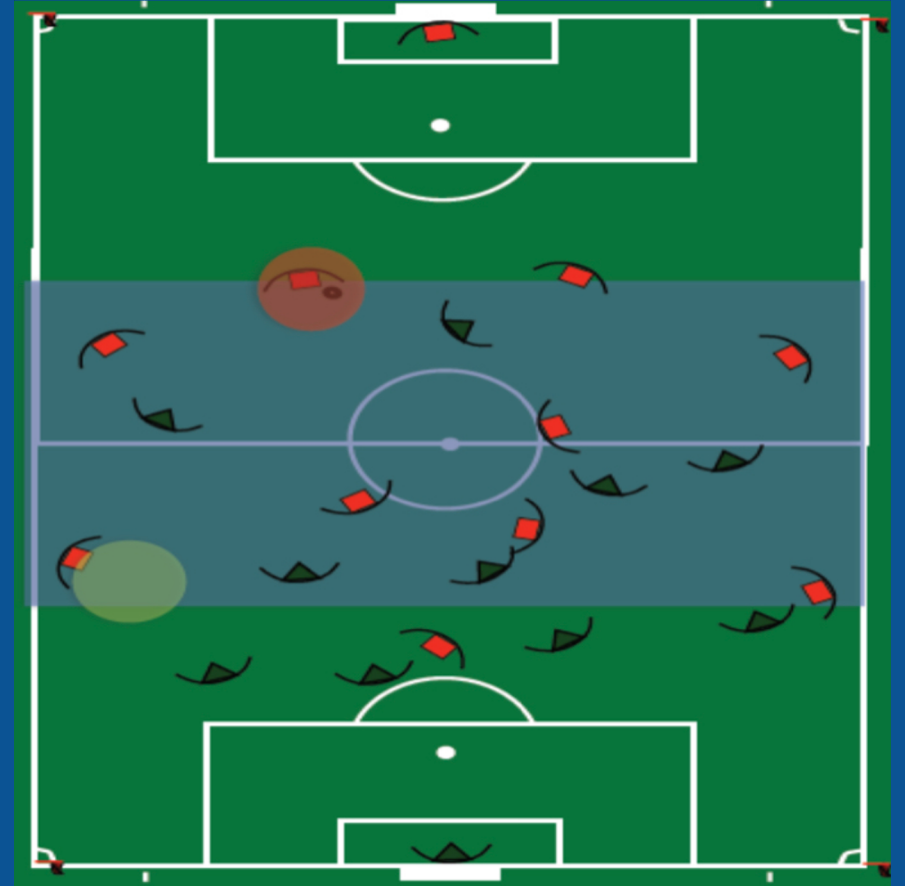
- 相手の中央への前線へのパスを防ぐ。
- 相手センターバックがボール保持時、中央のスペースを守ることを優先する。（中に入って来る相手サイドハーフを監視する。）
- ボールが相手サイドバックへ移動中に、プレッシャーをかける。
- ボールが中央のゾーンまたは逆サイドにある時、中央のスペースを閉じ、カバーリングする。（パスコースを切る。）



サイドハーフ編⑦スペースの守備

2, ボールが自分を越えた時、
後ろに向かって守備をする

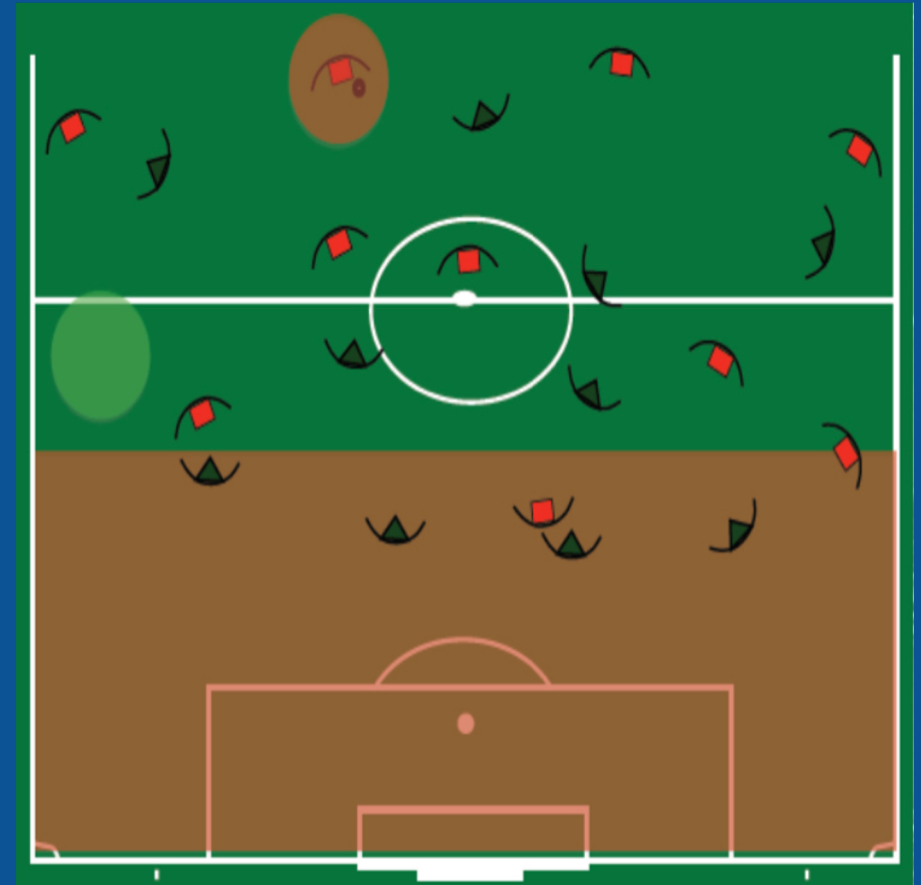
- ディフェンスと中盤のライン間にいる選手に対応する。
- サイドバックにはDFラインの背後のスペースを守らせる。(普通相手のサイドハーフもしくはインテリオール)



サイドハーフ編⑦スペースの守備

3, サイドバックの1×1の状況を助けに行く

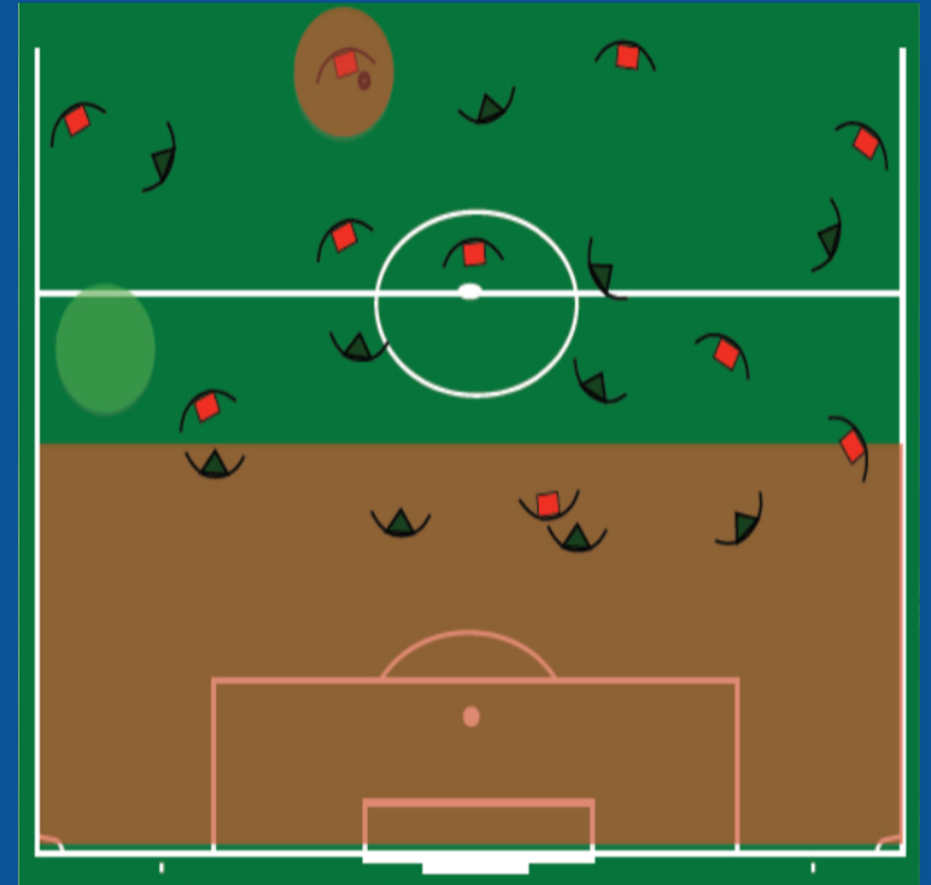
- サイドバックの1×1の状況を助けに行く。
- 後ろへプレッシャーをかける。または中へのパスコースをふさぐ。
- ボランチのカバーがある場合、後ろへのパスコースをふさぐ。



サイドハーフ編⑦スペースの守備


4, 相手サイドバックの攻撃参加についていく

- 相手サイドバックがとても高い位置を取る場合、マークを受け渡す。
- そうでない場合はサイドバックの攻撃参加について行く。



サイドハーフ編

実践1：サイドハーフのメイン原則について改善するための
トレーニングメニューを最大2つ考えてみましょう！（オフェンス・ディフェンス1つずつ）



アウトプットまでが
インプットです！